

教員業績

セキヒロ

氏名 関 泰子

職名	教授
専門分野	社会学(比較社会学、地域研究)
学位	国際学修士

学術論文・学会発表等

- 2011年 2月 「四国で女性研究者を育む: 大学における女性参画のビジョンを語る」<四国女性研究者フォーラム>
- 2012年 「タイ・モーン族における仏教と精霊信仰の実践がエスニック・アイデンティティに及ぼす影響」<『社会学雑誌』(29)109-133.>
- 2014年 3月 「タイ南部の船霊信仰」(単)<『立命館国際研究』26(4)143-166.>
- 2017年 10月 タイにおける妖怪と神-クマーン・トーン-(共)<小松和彦編『進化する妖怪文化研究』せりか書房、437-455.>
- 2018年 3月 ミャンマーにおける船霊信仰と宗教的シンクレティズム(単)<平成27-29年度科学研究費補助金(基盤研究(B)研究成果報告書)「東アジアにおける宗教的シンクレティズムの社会学的研究- 日本・中国・東南アジア-」87-98.>
- 2022年 11月 口頭報告「ラーマ6世の「家名法」がもたらしたもの -「新しいアジア研究の視座を求めて: 読者の立場から-」(単)<口頭報告 2022年11月13日 日本社会学会大会、於追手門学院大学 テーマセッション「アジアの多様性」>
- 2023年 3月 「新型コロナと流行神-タイの事例より」(単)<四国学院大学『論集』165.1-52.>

著書等

- 2007年 タイにおけるミャンマー人労働者のエスニシティとナショナリティー-モーン族の事例を中心に-(共)[佐々木衛編『越境する移動とコミュニティの再構築』<東方書店>
- 2007年 バンコクにおける女性のライフコースの変化と主婦化をめぐる(共)[落合恵美子他編『アジアの家族とジェンダー』<勁草書房>
- 2008年 Housewifization and Changes in Women's Life Course in Bangkok(共)[Emiko Ochiai et al. eds., Asia's New Mothers: Crafting Gender Roles and Children Networks in East and Southeast Asian Societies]<Global Oriental, UK>
- 2011年 3月 Withi Khoropkhrua chao asia nai satwat thi 21 (Thai)(共)[Emiko Ochiai, Worawet Suwanrada et al, eds.]<Chulalongkorn University Press.>
- 2023年 「東南アジア家族の歴史的展開」[日本家族社会学会編]<『家族社会学事典』丸善出版>